

ほけかんだより2023夏臨時号

会食時の感染に注意しましょう

大分大学保健管理センター 教授
工藤欣邦

2023年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、感染症法の位置づけが、それまでの2類相当から5類へ引き下げられました。しかし、5類に移行しても、その病原性が変わるわけではありません。COVID-19は、相変わらず感染力や伝播力が非常に強い感染症です。大分大学旦野原キャンパスにおいても、7月の第2週あたりから学生の感染者が急増しています。感染者と長時間接触した人は、その後の体調管理を十分に行う必要があります。

感染のリスクが高い機会としてあげられるのが複数人での食事会です。なぜなら、比較的近距離でマスクを外した状態での会話が発生するからです。例えば、下イラストのように4人で食事会をしているとします。Aさんは既にCOVID-19に感染していますが、発病の前日で症状は全くありません。ただ、発病前日は周囲の人へ感染させる可能性があります。BさんもCOVID-19に感染していますが、症状が全くないため本人も気がついていません。COVID-19感染者の約2割は無症状と言われていています。しかし、感染しているため、同じく周囲の人へ感染させる可能性があります。このような状態で長時間会食をすると、高い確率でCさん、Dさんに感染することが予想されます。「症状がないから感染していない」「見た感じ元気そうだから感染していない」とは言い切れないのです。ですから、就活のための面接や大切な試験など、自身にとって大事なイベントがある前に、複数人で不要不急の会食をするのは、少なくとも流行期には避けておいた方が賢明です。

